

縄文の資源利用

～その多様性と展開～

平成27年度 かながわの遺跡展
第1回 特別講演
平成28年1月9日(土)

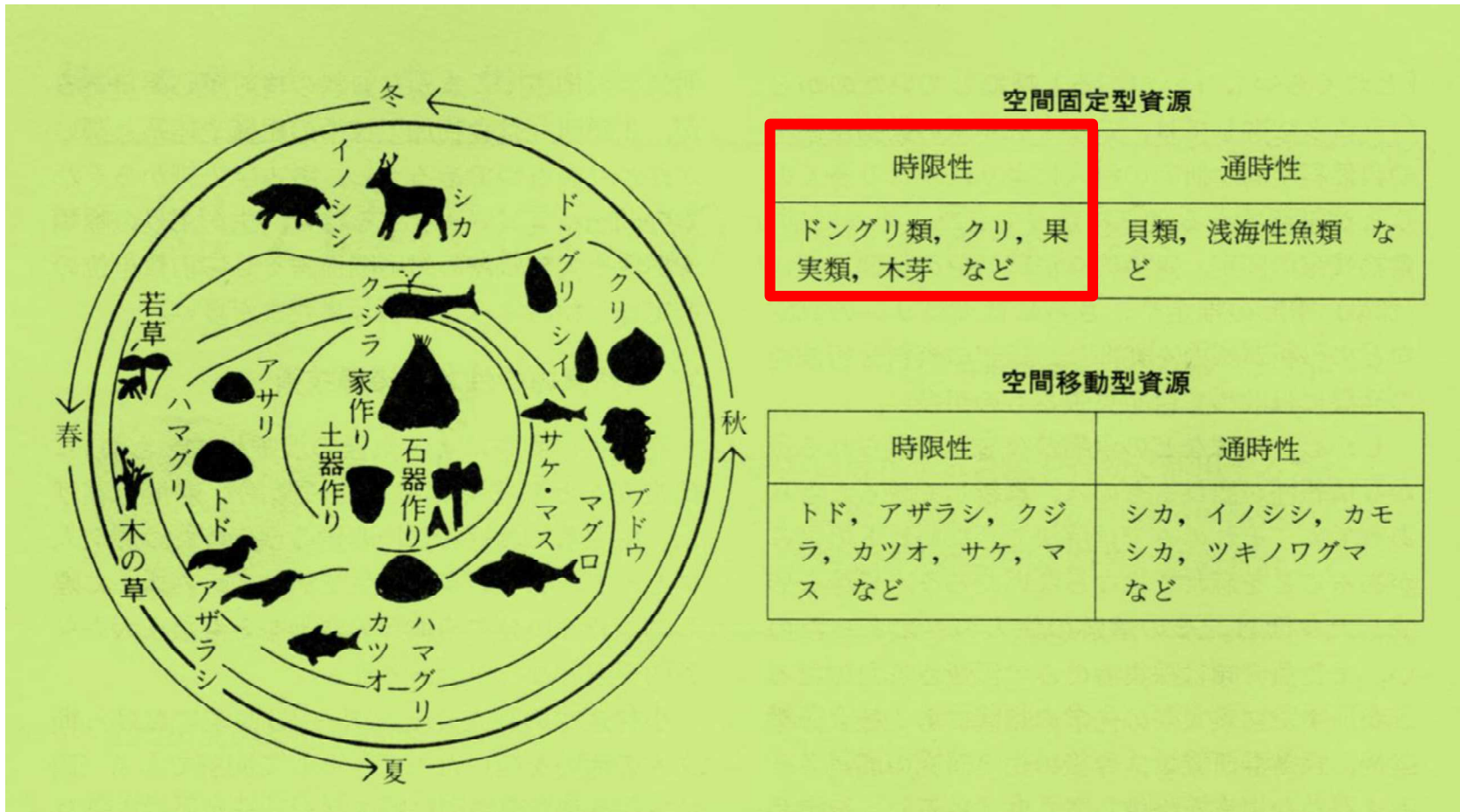
明治大学 阿部芳郎

- I 縄文時代の環境と社会～暖かい海と森の文化～

- II 資源利用史からみた縄文文化の特性
 - ①もう1つの森の資源－漆－
 - ②もう1つの海の資源－塩－

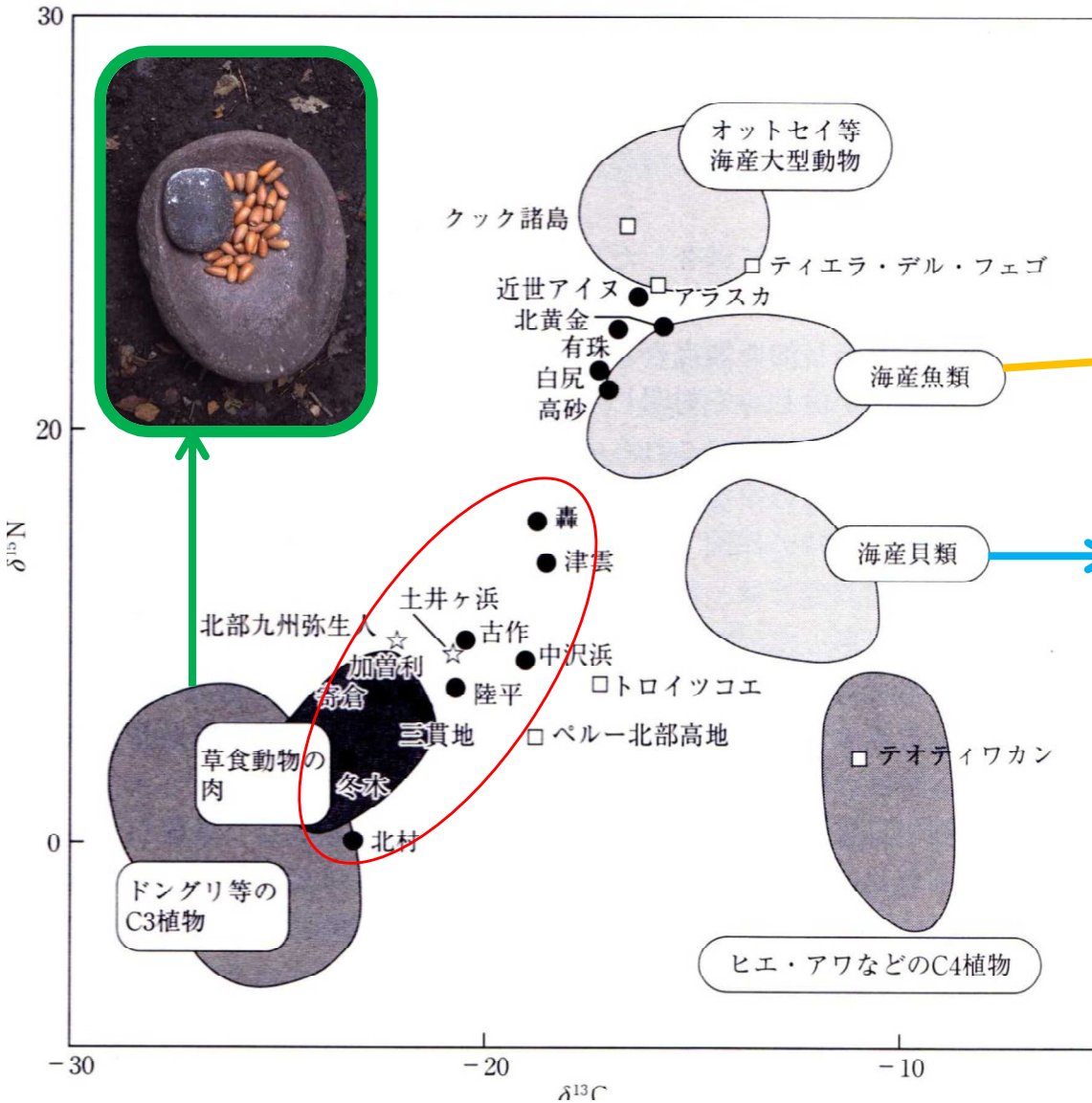
- III 資源利用史からみた縄文文化の特質

縄文人の生業構成と資源類型



縄文も弥生も時限性の空間固定型資源を主食化している

貝塚人骨からみた食性



土器の形態と用途の変化

縄文時代



13000年前

狩猟採集社会の土器



6500年前

定住的な生活の確立



3500年前

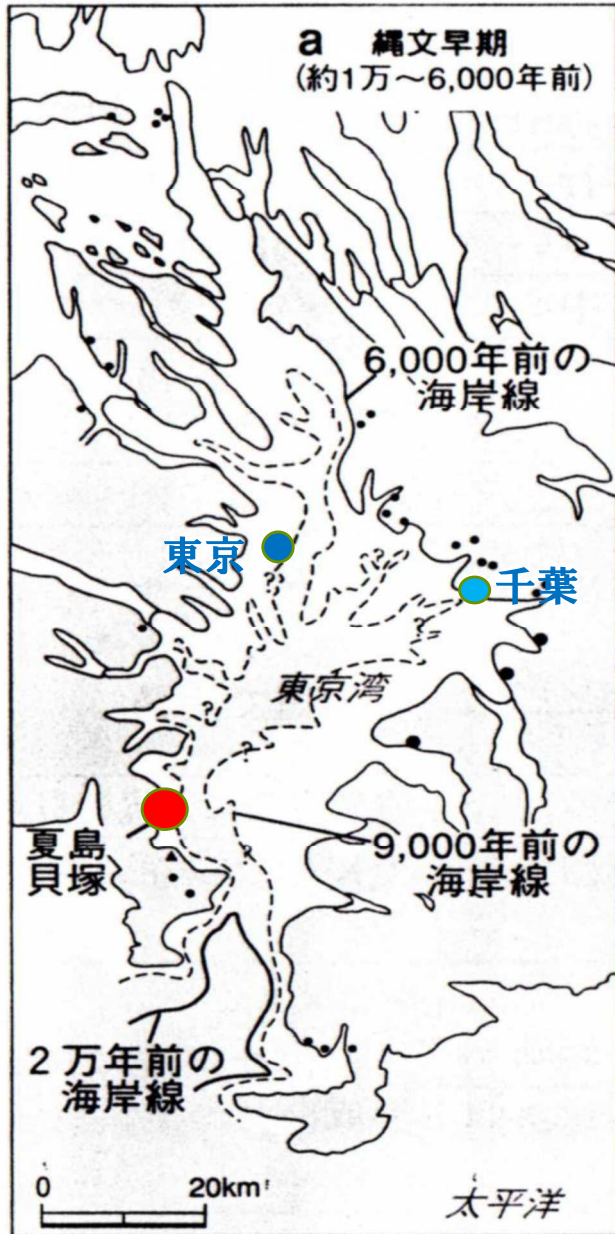
器種の複雑な分化・粗製土器の出現

稲作農耕社会の土器

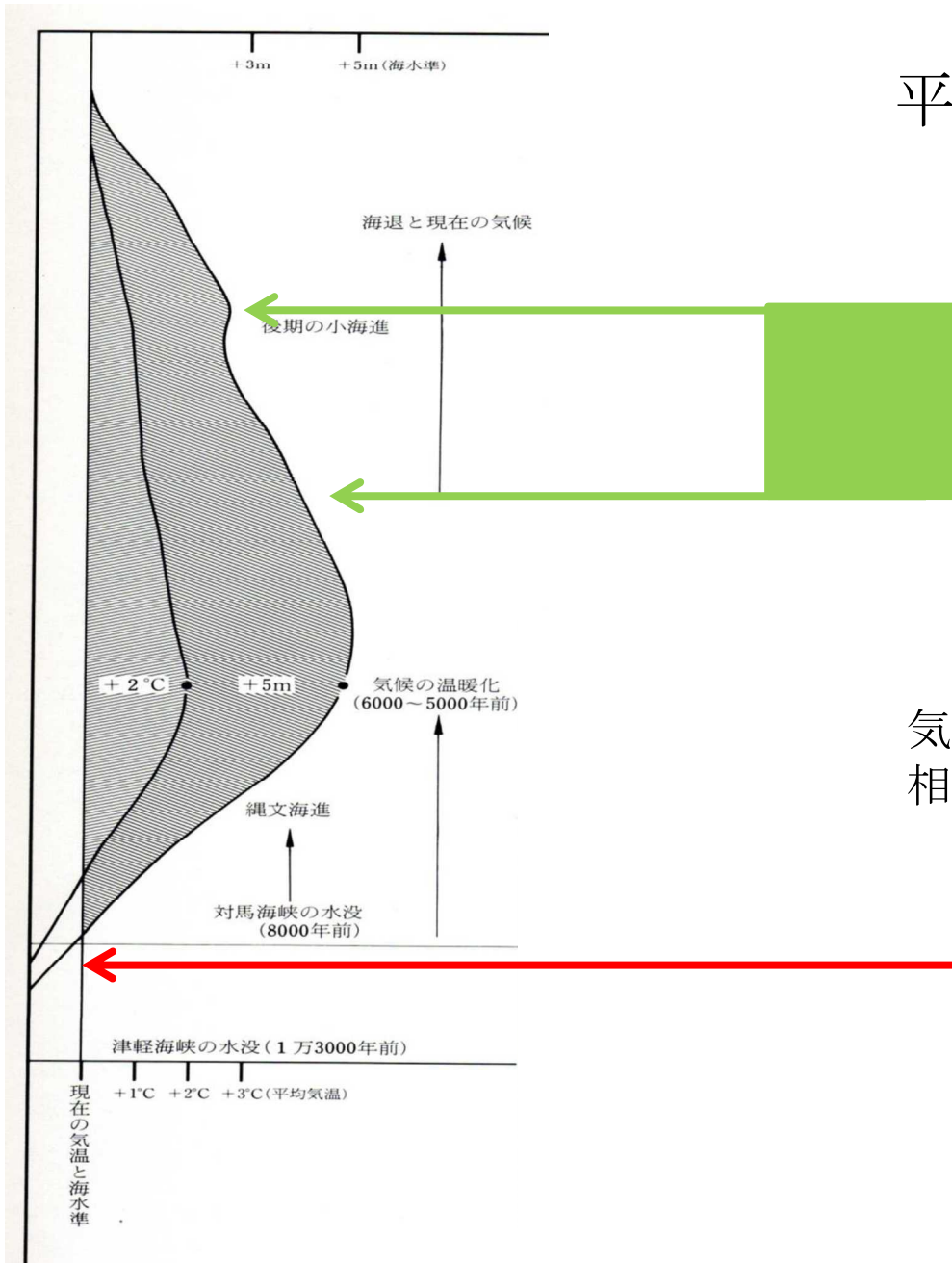


弥生・古墳時代

夏島貝塚の貝層と骨角器



平均気温と海水面の変動

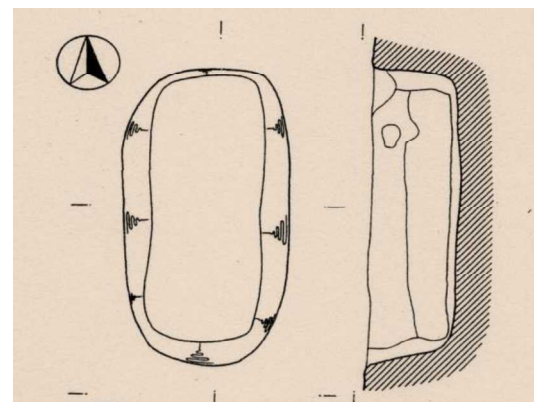
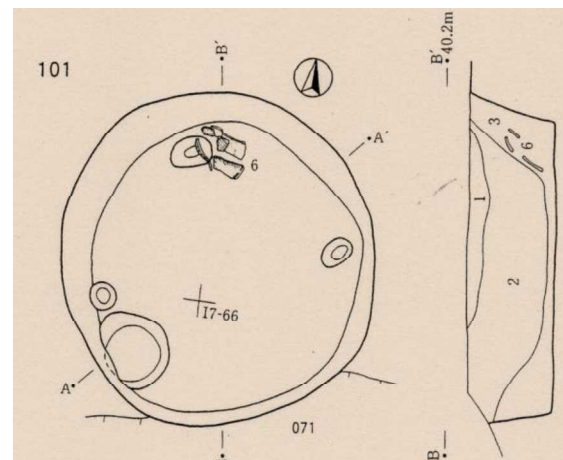
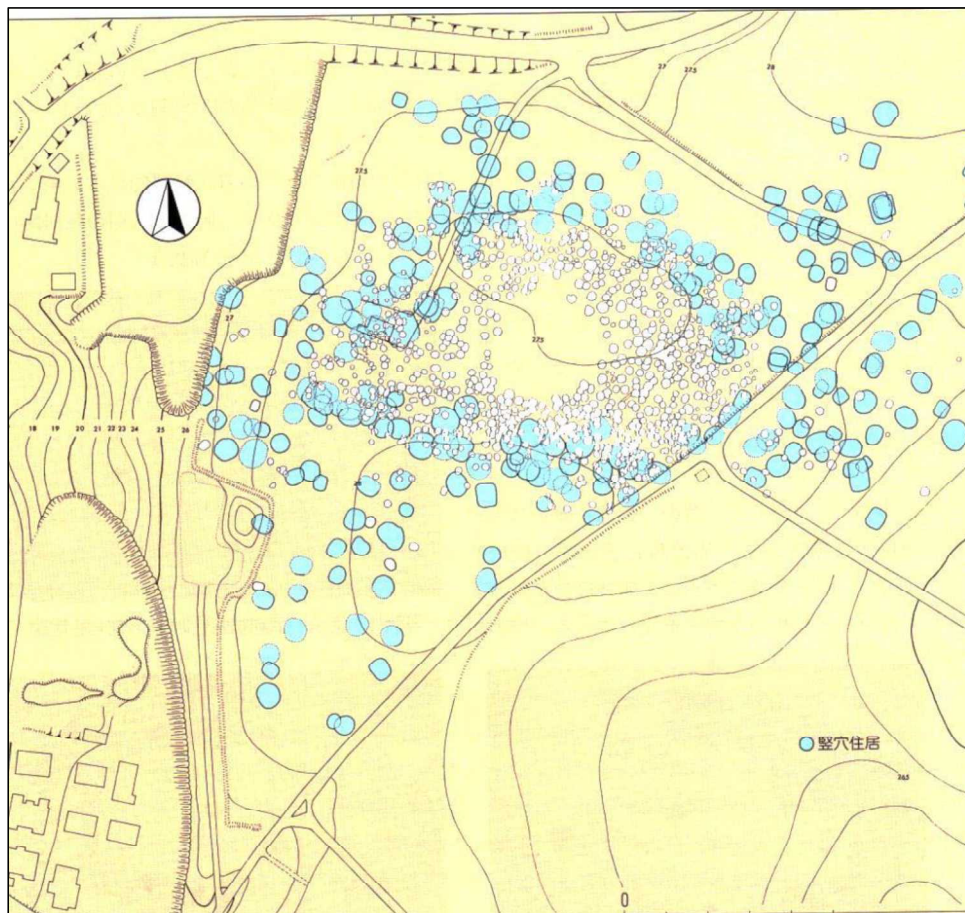


大形貝塚の形成

気候変動と海水準の移動は
相関関係にある。

夏島貝塚の形成

巨大な集落を支えた貯蔵穴



千葉県子和清水貝塚(中期)

東京都中里貝塚の貝層断面

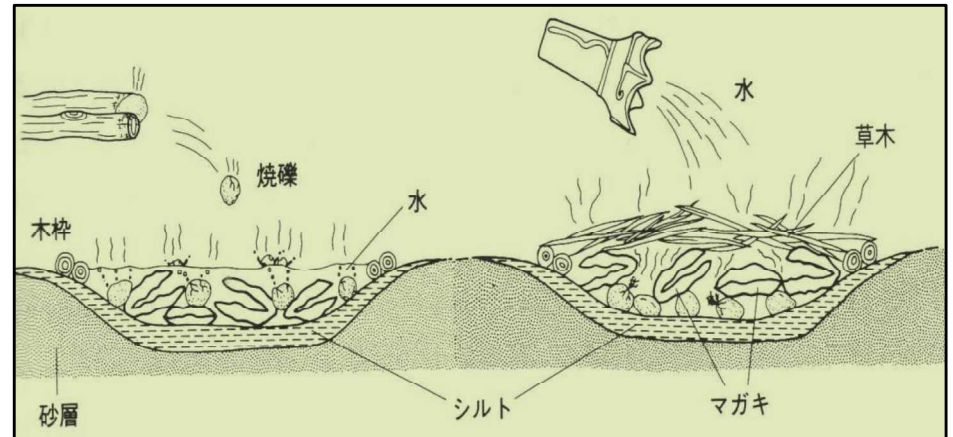


貝の加工方法

砂浜上に発見された加工施設



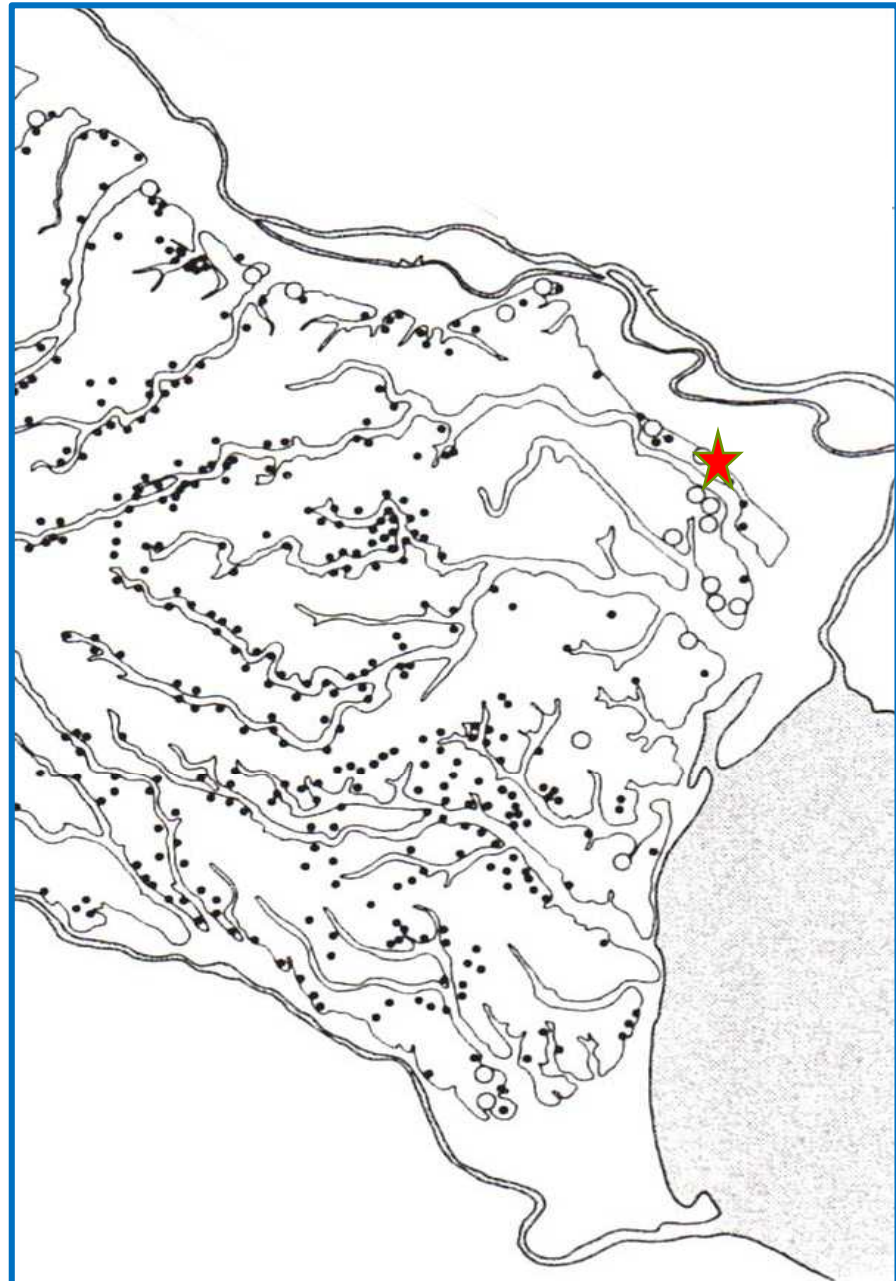
木枠付土坑の使用方法の推定



武蔵野台地における 中期の遺跡と貝塚

- 東京低地に面して
小規模な貝塚が点在
- 河川沿いに多数の
大型集落が分布

★ 中里貝塚



縄文貝塚の類型

●居住活動に伴い形成された貝塚……自家消費的な利用

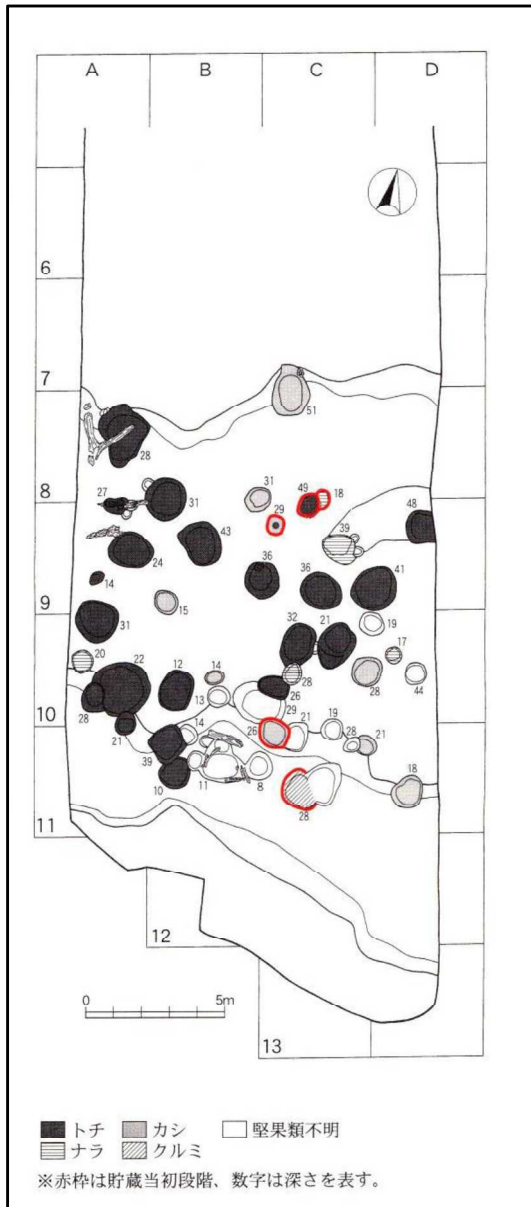
⇒ムラ貝塚 加曾利貝塚 陸平貝塚

●海辺の剥き身作業に伴い形成された貝塚……流通ネットワークの発達

⇒ハマ貝塚 中里貝塚

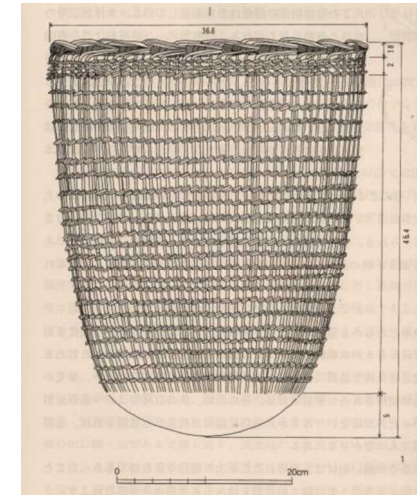


貯蔵穴から発見されたもの



貯蔵された堅果類

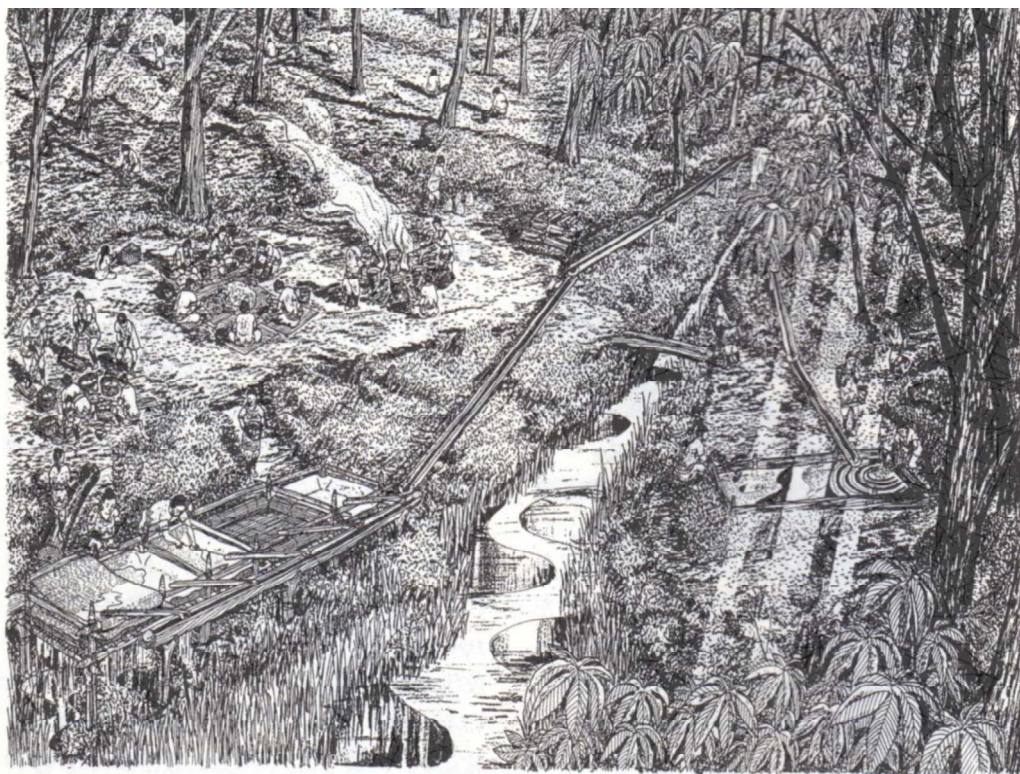
繰り返り作られた貯蔵穴の底面にはトチやカシの実が発見され、低地の水分を利用して貯蔵が行われたことがわかる。



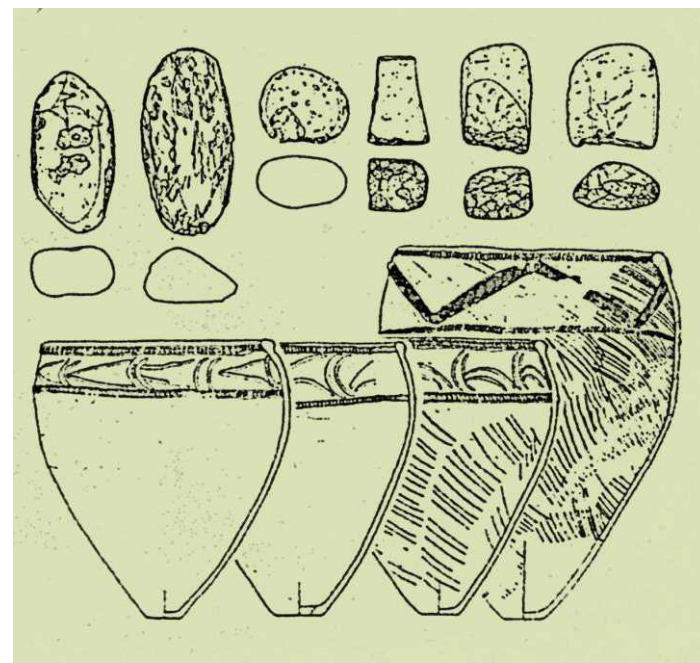
貯蔵穴底面の編組製品

赤山型の水場遺構と出土遺物

木組遺構の復元想定図

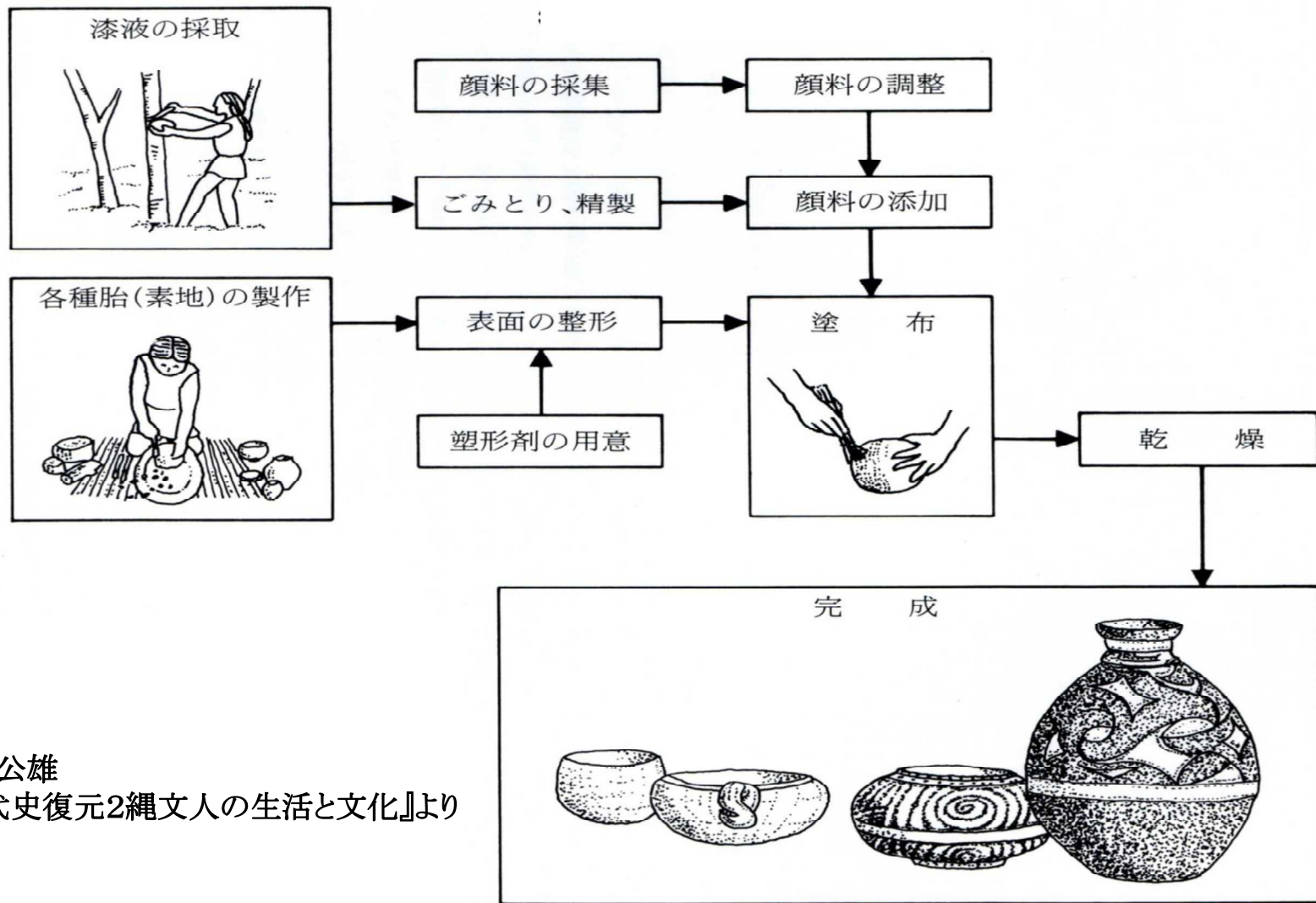


出土遺物



漆を使う条件整備

時間と場所の管理



鈴木公雄

『古代史復元2縄文人の生活と文化』より

3500年間接合していた土器（埼玉寿能遺跡）



2つの赤彩装飾伝統

諸磯系漆装飾



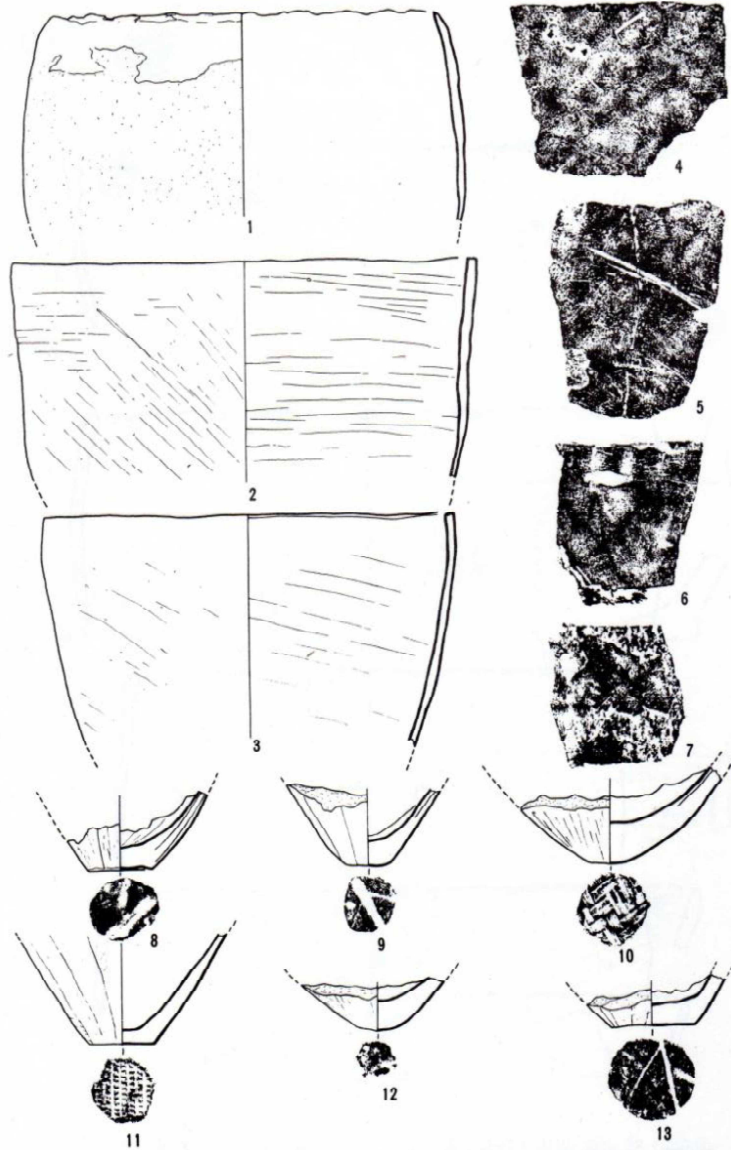
北白川下層系ベンガラ装飾

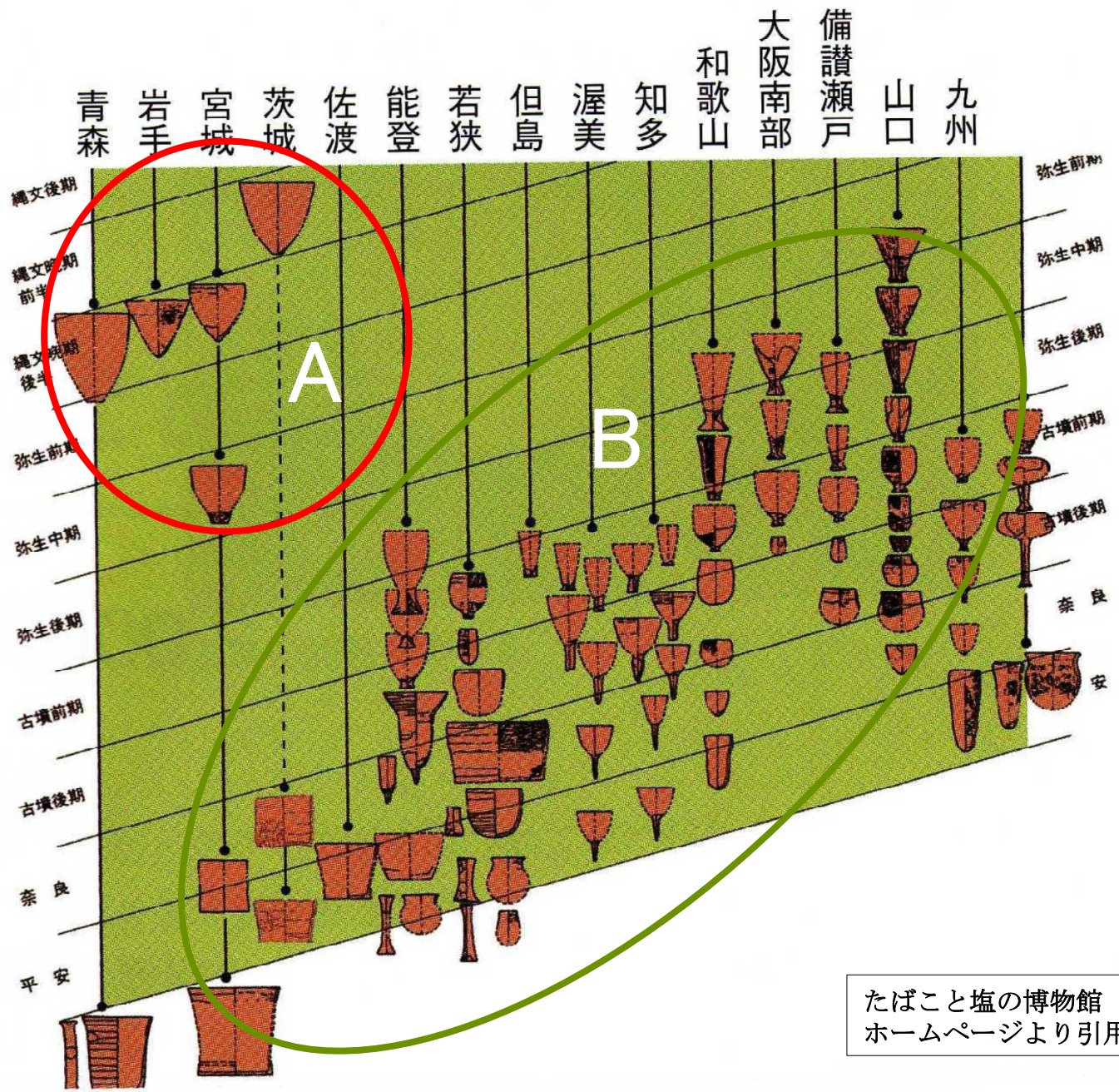


漆を塗った道具類



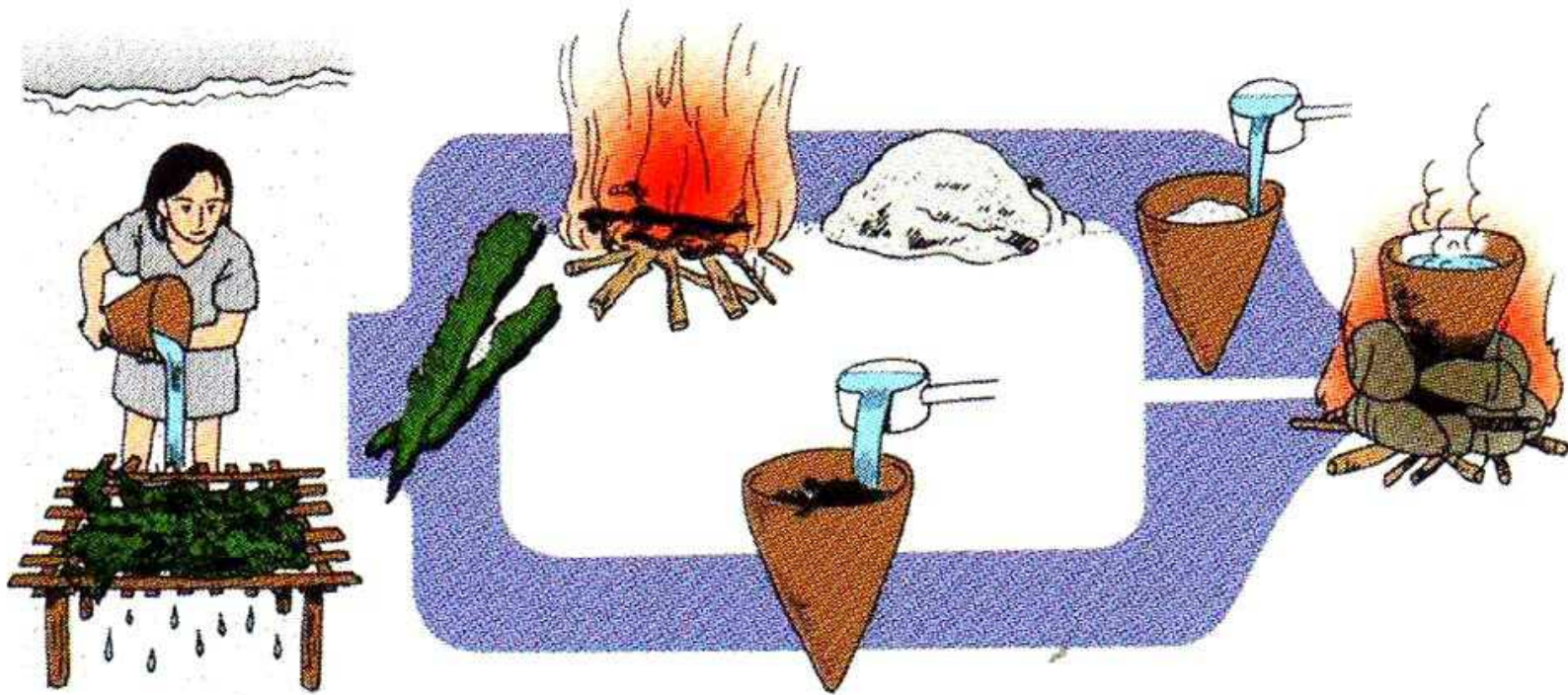
茨城県広畑貝塚の製塩土器 (約3200年前)





たばこと塩の博物館
ホームページより引用・改変

想定される古代の製塩技術・藻塩法



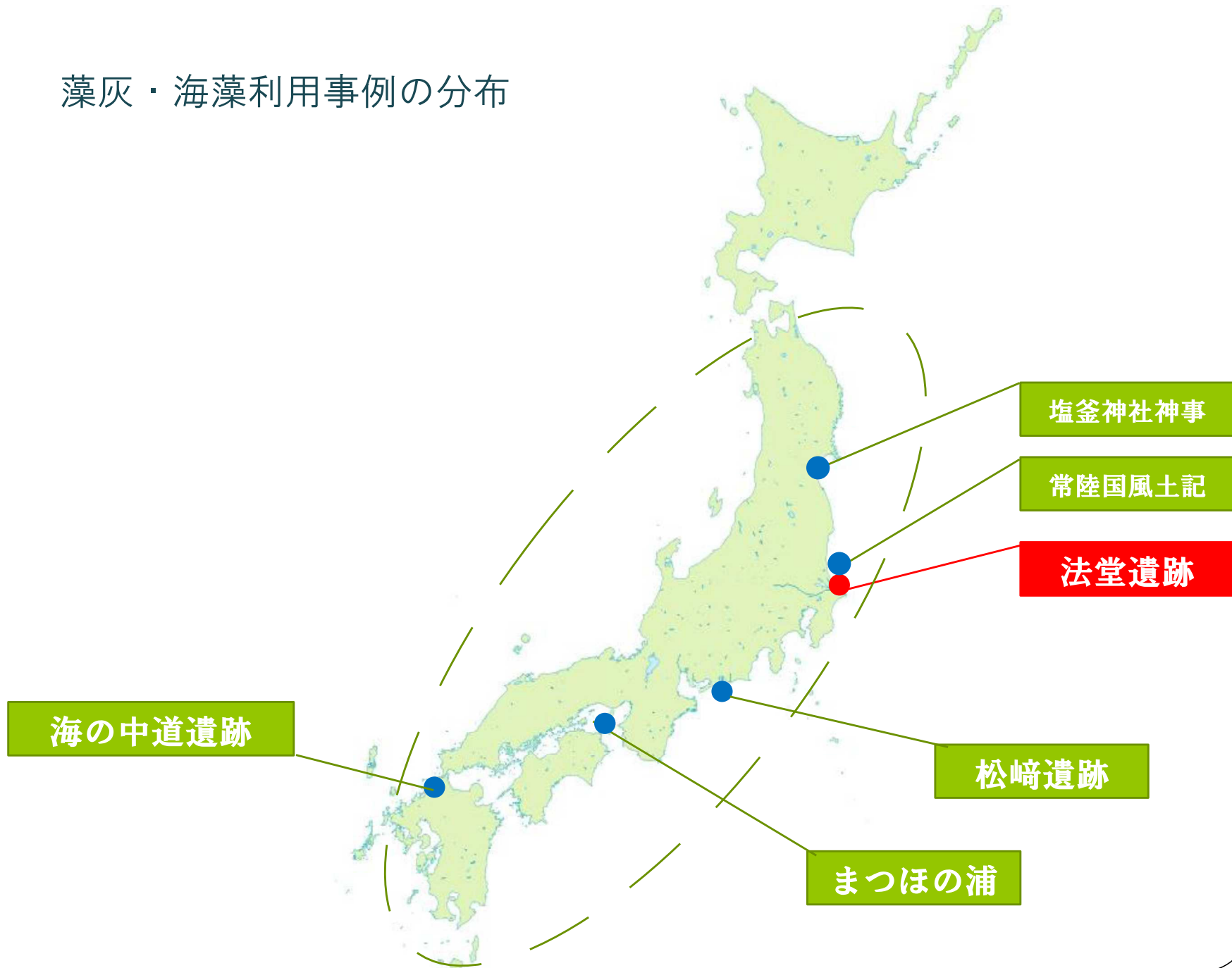
『霞ヶ浦と太平洋の恵み』 展示図録 茨城県立歴史館

2013年より

藻灰を入れた土器で海水を煮る



藻灰・海藻利用事例の分布



縄文の資源利用の特質

- 自然物の資源化が環境要因だけでなく**主体的な選択**によっている。
- 資源の**周年利用**を可能とする技術が発達。
- 資源の効率的な利用形態として**流通ネットワーク**が発達する。
- さまざまな手工業の発達は**社会の複雑化**をしめす現象である。